

## 3月23日は世界気象デー

～今年のテーマは「早めの警戒、早めの行動」～

世界気象機関（WMO）は、3月23日の「世界気象デー」に向けて、「早めの警戒、早めの行動<sup>※</sup>」をテーマとするキャンペーンを行っています。気象庁はキャンペーンに協力するとともに、引き続き線状降水帯の予測精度向上等の気象防災の課題に取り組みます。

※原文は“Early Warning and Early Action”

### 【世界気象デーと今年のテーマ】

WMOは、1950年（昭和25年）3月23日に世界気象機関条約が発効したことを記念し、毎年3月23日を「世界気象デー」として、気象業務への国際的な理解促進を目的にキャンペーンを行っています。

今年の世界気象デーは、「早めの警戒、早めの行動」をテーマとし、「防災のための気象・水・気候情報」の重要性にスポットライトを当てています。近年、気候変動は極端な気象現象の頻度と強度の増加をもたらし、自然と人間に広範囲にわたる悪影響を及ぼしていることから、気象・水・気候に関する極端な現象がもたらすリスクを特定し、軽減するための情報の必要性が高まっています。WMOは、各国の気象機関や防災機関等が連携し、こうした情報の提供を通じて人々に早めの行動を促すことができるよう、各国を支援しています。詳細は、WMO特設ページ（英語）及び気象庁特設ページ（日本語）をご覧ください。



世界気象デーのバナー（出典：WMO特設ページ）

WMO 特設ページ（英語）：<https://public.wmo.int/en/resources/world-meteorological-day/world-meteorological-day-2022-early-warning-early-action>

気象庁特設ページ（日本語）：[https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/kokusai\\_wmd.html](https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/kokusai_wmd.html)

ソーシャルメディアで話題にされる場合は、ハッシュタグ「#WorldMetDay」をご利用ください。

### 【気象庁の取組】

気象庁は、近年激甚化する豪雨災害等を受けて、線状降水帯の予測精度向上に向けた観測・予測の強化や、より早い避難を促す情報改善の取組を加速するとともに、住民ひとりひとりの防災行動につながるよう、地域防災支援に向けた取組等を強化しています。

今後も、WMO や各国気象機関、国内の関係省庁・機関と協力しながら、引き続き気象防災等の課題に取り組んでまいります。

#### 世界気象機関 (World Meteorological Organization : WMO) の概要

- 設立目的： 気象業務に関する国際的な調整・標準化・改善や、  
気象情報の交換促進
- 設立日： 1950 年 (昭和 25 年) 3 月 23 日
- 事務局所在地： スイス・ジュネーブ
- 加盟構成員： 187 か国・6 領域 (我が国は 1953 年 (昭和 28 年) に加盟)
- ホームページ： <https://public.wmo.int/en>

問合せ先：総務部企画課国際室 松田  
電話 03-6758-3900 (内線 2253)

【世界気象機関（WMO）特設ページ（英語）のメッセージの仮訳】

世界気象デー2022 - 早めの警戒、早めの行動

防災のための気象・水・気候情報

気候変動の結果、世界の多くの地域で気象、気候、水に関する極端な現象がより頻繁に、より激しく起こるようになっていきます。私たちの多くは、人口増加、都市化、環境悪化によって、これまでに経験のないほど深刻化する様々な危険にさらされています。

気象がどうなるかの予測だけではもはや不十分です。人命と生活を守るためには、気象が何をもたらすのかを一般の人々に知らせるインパクトベースの予測が不可欠です。しかし、世界の3人に1人はまだ適切な早期警戒システムにカバーされていません。

国家気象水文機関、防災機関、開発機関がより緊密に連携することが、より良い予防、準備、対応の基本となります。

新型コロナウイルス感染症は、社会が直面している課題を複雑化させ、対処メカニズムを弱体化させています。また、この感染症は、相互につながった私たちの世界において、気候変動対策、防災、持続可能な開発に関する世界的な目標に向けて進歩するために、私たちは真にマルチハザードで国境を越えたアプローチを受け入れる必要があることを強調しています。

適切なタイミング、適切な場所で準備され、行動できるようになれば、現在と未来の両方において、多くの命を救い、あらゆるコミュニティの生活を保護することができますようになります。

2022年3月23日の世界気象デーは、「早めの警戒、早めの行動」をテーマとし、「防災のための気象・水・気候情報」の重要性にスポットライトを当てています。